



ゆづりは

堺市立図書館だより

第2巻 第2号 (通巻 4号)
 発行日 平成19年9月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

観光さかい-堺行楽案内

中央図書館では毎年、夏休みの時期にロビーにおいて、普段はご覧いただく機会が少ない貴重資料を中心に、テーマを決めて資料展を開催しています。今年は、8月4日(土)から9月2日(日)まで、「観光」をテーマに展示をしました。



絵葉書：浜寺公園海水浴場之光景

大浜や浜寺は、明治から昭和初期にかけて、多くの人々が訪れた観光地、リゾート地でした。図書館では、当時の様子を伝える絵葉書やパンフレット類などを数多く保存しています。

今回はこれらを中心に、江戸時代から現代まで、時代を追って、観光地としての堺を知っていただけるようにしました。また、現在の

観光パンフレットを自由にお持ち帰りいただくコーナーも設置し、好評をいただきました。

ご来場いただいた方のアンケートでは、かつての大浜・浜寺の風景を見て懐かしい、という感想が多く寄せられました。一方で、堺に海水浴場があったことを知らなかったという声もありました。

図書館では、古きよき昔の堺の姿をお伝えするとともに、これからの魅力あるまちづくりのためのヒントになるような情報発信を行っていきたいと考えています。

期間中、資料展にあわせて講演会を開催しました。

「私のおすすめ堺のみどころ」

8月5日(日)

講師 堺観光ボランティア協会会長
 高三壽次郎(たかみじゅじろう)氏



「おもてなしの心と観光さかい」

8月22日(水)

講師 堺市博物館館長
 角山榮(つのやまさかえ)氏



高三氏には、市内の隠れた観光スポットなどをスライドで紹介いただきながら、堺のまちの魅力を語っていただきました。

角山氏は「もてなしの心」とは、堺で生まれた茶道の精神に通じるものであり、私たちは観光客をお迎えするにあたり、その心を大切にしなければならないと強調されました。また、堺の名所は市民自らが作っていくものであるとのお話に、聴衆のみなさんも深くうなずいていらっしやいました。

目次

観光さかい-堺行楽案内 … 1
 いうひろしさん
 ワークショップ・講演会 … 2
 わたしのとっておきの一冊… 2
 パソコンふれい(あい)
 ステーション開設 … 3
 この本で解決！
 ~食べ物編 … 3
 資料(点検)整理期間による
 休館のお知らせ … 3
 よんでみてみて！ … 4
 司書のイチ押し！
 竹内浩三「筑波日記」 … 4
 堺市立図書館電話番号一覧 … 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

「年ごとにゆづりゆづりて譲り葉の ゆづりしあとにまた新しく」

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



ど ん な 音 が み え た か な？

いとうひろしさん 原画展・ワークショップ・講演会

中央図書館で絵本作家、いとうひろしさんの原画展、ワークショップと講演会が開催されました(子どもゆめ基金助成事業 堺市子ども文庫連絡会主催)。



たたいてみよう。どんな音？

・原画展「ルラルさんのじてんしゃ」

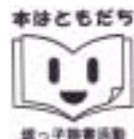
7月12日～7月22日まで、同名絵本の原画展示をおこないました。とてもきれいな色彩の原画で、絵本とはまた違った発見がありました。



絵本を手にして語られるいとうさん

・ワークショップ

7月14日にはワークショップ「さあ、なにがはじまるかな いとうひろしさんと絵をかこう」が開催されました。当日は台風の気配ただようあいにくのお天気でしたが、



ほんともだち
堺っ子読書活動

たくさんの子どもたちがいろんな物をたたいて、いろんな「音」の絵をかきました。

この日の作品は、中央図書館ロビーに展示し、来館されるたくさんの方にも見ていただきました。

・講演会「絵本の育て方」

翌15日には講演会「絵本の育て方」で、いとうさんの絵本に対する考え方などをお話しいただきました。暖かくユーモアあふれるお話に笑いながらも、絵本とは何か、深く考えさせられる内容でした。

わたしの“とっておきの一冊”～その3

平成19年1月に募集した「わたしのとっておきの一冊」。たくさんのご応募、ありがとうございました。前回に引き続き、みなさんの「とっておき」をご紹介します。多くの皆さんにご応募いただいておりますので、次号以降にも掲載させていただきます。

「よるくま クリスマスのまえのよる」酒井 こまこ

主人公の男の子とよるくまが、我が子とダブってしまい、何度読んでも涙が出てきてしまいます。(30代・女性)

「純情裏長屋」山本周五郎

泣いて、笑って、とても心にひびく作品でした。(30代・女性)

「ミミちゃんのぬいぐるみ」ふくさわゆみこ

想像していた展開とは異なり、おもしろかった。子供たちもとても笑ってびっくりしていた。(30代・男性)

「天皇の世紀」大仏次郎

難しいが読み継がれて欲しい本。大学生のときと、社会人になって2度読んだが、感動した場所が違った。一生読める本。(30代・男性)

「ゲゲゲの鬼太郎妖怪占い」ぬらりびよん

誕生日で自分の「妖怪」がわかる本。色々な人との話題ができて、楽しい1冊。(30代・女性)

「海底二万マイル(海里)」ジュール・ヴェルヌ

子どもの頃、図書館でこの本を借りるときに、「読んだ本を大きくなってからもう一回読んでごらん。きっと違う感想が出てくるから」と言われました。今読んだらまた違う感想が浮かんでくるのでしょうか。(30代)



中央・東・南にインターネット用 パソコン設置

- パソコンふれい(あい)ステーションのご案内

7月10日、中央、東、南各図書館に、「パソコンふれいステーション」が設置されました。市民の皆様の利便性の向上などを目的として、市役所の情報化推進課が図書館に設置したものです。ご来館の方はどなたでもご利用いただけます。どうぞご利用ください。



利用できる日・時間

火曜日～金曜日：午前10時～午後7時30分

土曜日・日曜日：午前10時～午後5時

ご注意

- ・図書館休館日、保守点検日には利用できません。
- ・カウンターではお問合せに対応できない時間帯もございますので、ご了承ください。
- ・できるだけ多くの方にご利用いただくため、お一人様30分までとさせていただきます。
- ・飲食はできません。
- ・アダルトサイト等、フィルタリングにより、閲覧できないサイトがあります。
- ・文書作成ソフトや表計算ソフト、プリンタはございません。
- ・記録媒体(FD,CD-R/RW,USBメモリなど)は使用できません。

資料(点検)整理期間による休館のお知らせ

資料(点検)整理期間の間、図書館では「蔵書点検」を行っています。蔵書点検とは、お店でいうと「棚卸し(たなおろし)」作業にあたり、館内にある資料すべてを一冊一冊点検していく作業です。休館日を減らせるように、作業の効率化、改善を繰り返しておりますが、お求めの資料を確実に提供していくためには欠かせない作業です。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

***** 10月～12月の休館*****

西図書館 10月4日(木)～10月11日(木)
 中図書館 10月15日(月)～10月22日(月)
 初芝分館・東百舌鳥分館
 10月24日(水)～10月26日(金)
 青少年センター図書室
 11月7日(水)～11月9日(金)
 堺市駅前分館 11月14日(水)～11月16日(金)
 中央図書館 11月27日(火)～12月8日(土)

この本で解決！ ～食べ物編～

図書館の仕事のひとつに参考業務(レファレンス業務)があります。これは、図書館をご利用の皆様から寄せられた質問に対して、主に図書館資料を用いて回答するため、多種多様な質問が寄せられます。皆様から寄せられた質問については、事例を記録して、同じような質問が寄せられた時のために役立てています。

今回はそんな事例の中から、くらしの中で疑問に感じたり、調べたいと思われることが多い「食べ物」について、これまでに図書館に寄せられた質問と、回答に用いた本を、ご紹介します。

- Q スプーンの調理法が載っている本は？
 A 『プロ調理師の基礎講座 下巻』にわかりやすく書かれています
- Q りんごあめの作り方
 A 『おもしろお菓子ブック』に載っています
- Q サンショウの佃煮を作るときの具体的な分量が載っている本を知りたい
 A 『自然食大辞典』の「サンショウ」の項に載っています
- Q サンショウの実の保存方法を知りたい
 A 『山溪フィールドブックス山菜』に冷凍する方法が紹介されています
- Q わさびの茎を使ったつくだ煮の作り方
 A 『山野草を食べる』、『日本の食生活全集』(「新潟」「山口」などの巻)に載っています
- Q 柚子のジャムの作り方を知りたい
 A 『四季のジャムと甘煮』、『季節の果物を楽しむジャムと果実酒』などに載っています
- Q 銀杏の電子レンジでの調理の仕方が知りたい
 A 『村上祥子の電子レンジラクラククッキング』に載っています
- Q 胡麻豆腐の作り方
 A 『現代日本料理技術時点 基礎編』に載っています

大和川、堺のうたなど、特定のテーマについては、調べ方マニュアル「図書館で解決!？」として印刷・発行しています。また、これらの事例やテーマ別調べ方マニュアルは、図書館ホームページでもご紹介しています。

よんでみてみて！

美原図書館「ティーンズエリア」は10代の人向けの本を集めたコーナーです。
投稿箱に寄せられたおすすめ本情報やイラストをご紹介します。

♡「妖界ナビ・ルナ」仲間たちと一緒に敵と戦っていてワクワクします！！

とにかくおもしろいので、読んでみて下さい！！（彩花 13歳）

苦しくても一生懸命戦うルナがかっこいいー！！ぜひ読んでみて下さい（梅干Ue 13歳）

♡「ハッピーバースデー」最後の1行まで泣けました。よんでみてください！！（11歳）



司書のイチ押し！

純白の花負いて

- 詩人竹内浩三の“筑波日記”

戦死やあわれ
兵隊の死ぬるやあわれ
遠い他国で ひよんと死ぬるや

竹内浩三（1921-1945）の詩「骨のうたう」の冒頭。

生まれながらの詩人と言われ、時々心の動きを率直にうたった詩をいくつか残し、フィリピンのバギオ山中に消えた竹内浩三。この本から、彼を一言で「反戦詩人」と言うには、あまりにも大きな、豊かな人間像が見えてくる。

映画監督を志した浩三は、1942年9月勅命戦時措置により、大学を繰り上げ卒業。翌10月、中部第38部隊に入営、翌年東部116部隊（空挺隊）に転属。筑波山のふもと、死に直面する兵舎で、毎日書きしるした日記が「筑波日記」である。

2月17日 アシタノ、内務検査ノタメノ
大ソウジ。

干シテオイタ、ジバンコシタヲ盗マレタ。

4月4日・・・御奉公ト云フ。コト、コノ
御奉公ニ関シテハ、ドンナエライ思想家モ、
小説家モ、マルデ子供ト同ジヨウナ意見シカ
ナイ・・・

何を食べたか、何をしたか、そして日常の風景が時に面白おかしく、ユーモアを含んで淡々と綴られる。文面では、一兵士として、この運命に不満も疑問も呈していない。がしかし、人として自由を奪われた苦しみ、死の恐怖、厳しい規則や規律に縛られることへの反発は、たやすく読み取ることが出来る。

そして、戦後の日本を、日本経済の発展までをも見抜いた深い洞察力には驚愕してしまう。

「筑波日記」は、およそ戦争には不向きであったであろう浩三が、規律と訓練で疲労困憊の中、意思力で残したいのちの記録である。

★

1970年代、神戸の同人雑誌『天秤』の同人桑島玄二は、戦中の詩と詩人について研究を続けていた。友人足立巻一より浩三の詩を教えられ、以来、浩三の評伝執筆に精力をそそぎ、それは、1978年8月、理論社より「純白の花負いて」として出版される。これまで、浩三の故郷（宇治山田や松阪）の関係者や友人の間で、あるいは雑誌上で紹介されていた浩三の詩や日記は、この出版によって、たくさん人の目にふれることとなった。

新評論の編集者、藤原良雄は、憑（つ）かれたように浩三の作品の出版に奔走し、1984年7月、小林察編による「竹内浩三全集1・2」を出版。後に、自ら浩三の作品を世に出すため、藤原書店を起すことになったともいわれている。

浩三が小さな手帳にエンピツで書き留めた詩や日記の持つ力、そのおおらかな心と鋭いことばの感覚が、編集、出版にかかわる人達を、揺り動かさずにはいられなかったともいえるのである。

* 後に出版された本には、あとから発掘された作品も多く所収されている。あわせてご覧いただきたい。

おすすめ資料

「日本が見えない 竹内浩三全作品集（全1巻）」
藤原書店 2001年刊（m）

堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	西図書館	271-2032
中央図書館	244-3811	南図書館	294-0123
くすのき号	244-3811	榎分館	296-0025
堺市駅前分館	222-0140	美木多分館	296-2111
中図書館	270-8140	北図書館	258-6850
東百舌鳥分館	234-9600	美原図書館	369-1166
東図書館	235-1345	人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
初芝分館	286-0071	青少年センター図書室	229-5120



R100

100%再生紙を使用しています。
行政資料番号

1-K3-07-0126